

# おひさま

発行：  社会福祉法人  
えどがわ

東京都江戸川区一之江 3-2-2  
発行責任者：法人事務局



うか。

食事の初めに言う「いただきます」も他の命をいただくということだそうです。色々な食べ物を人間は口にして、なおかつ美味しくいただくには、そこまでの工程がどれ程あるかを考えるだけでも感謝の気持ちが自然と出てきませんか。そして、食べ終わったら「ごちそうさま」といいますが、この「ご馳走」とは馬で走り回っていろいろな食べ物を集めたことに由来します。昔はお客様をもてなすにも大変な苦勞があったので、その勞をねぎらう意味を込めて「ごちそうさま」と言ったことが始まりだそうです。このようにいつも当たり前のように使っている言葉でも、その意味を知ることにより、幸せな気持ちになるような気がします。

ちなみに「ありがとう」を漢字で書くと「有難う」と書きます。有ることが難しいという意味です。他の人が自分のために何かをやってくれるということは「当たり前」ではなく、本当は難しいことかもしれません。これらの挨拶言葉は人間関係を円滑にする潤滑油ではないでしょうか。そして、そこに集まった人たちが少しでも幸せな気持ちになる魔法の言葉のような気がします。それには笑顔で挨拶をすることも大事ですね。

子どもたちに挨拶はしなくてはならない。みんなやっているからではなく、少しかみ砕いて挨拶の大切さをわかりやすく説明してあげてください。



## 『挨拶』

社会福祉法人えどがわ  
理事長 田澤 茂

(東一の江幼稚園理事長)

私は自園で毎朝、門に立って子どもたちに「おはようございます」と挨拶をして、子どもたちを迎えています。題名を忘れてしまいましたが、ある本に挨拶はなぜするのかということが書かれていました。それには「自分と接する誰かに少しでも幸せになってもらいたい」という思いが必要であるからということが書かれてありました。

今まで挨拶は、常識のある人であればするのが当たり前とあまり深く考えないでしていました。挨拶を交わした人に「幸せになってもらいたい」など考えたことはありませんでした。でも、こういう気持ちを持っていると、「おはようございます」という言葉の中に暖かさが感じられるような気がします。挨拶を交わした瞬間から、お互い「気持ちのいい生活」が始まります。それは真心を込めるからではないでしょ

祝

## 令和3年度 保育事業従事者に対する厚生労働大臣感謝状・区政功労者表彰

副理事長 秋山 秀阿先生におかれましては、保育事業の進展に資するため、永年にわたり保育事業に従事し、著しい功績が称えられ、保育事業従事者に対する厚生労働大臣感謝状を受賞されました。

また、評議員 石坪 慶仁先生におかれましては、長年にわたり江戸川区の区民の生活と文化の向上に尽くされた功績が称えられ、区政功労者表彰を受賞されました。職員一同、お慶びいたします。おめでとうございます。

## 法人総合防災訓練を実施しました



異常気象による自然災害や身近な場所での緊急事態のニュースも耳にする昨今、子どもの命を預かる保育園でも、様々な危機管理が試されるようになりました。11月10日に行われた法人総合防災訓練では、おひさま保育園23園と法人事務局が同時刻に一齐に訓練を実施しました。

各園で、ガラスが割れたり、ドアが開かなくなる等の想定で破損箇所を決め、子ども達が安全に避難出来る経路を確認。怪我人を設定し、職員が処置・対応の訓練も行いました。安全確認後、法人への状況報告と保護者の皆様への一齐メール送信。実際の災害時はどのような状態になるのか、3・11の東日本大震災が頭をよぎります。

園庭に備蓄品を運び出し、幼児クラスを中心に職員と一緒に確認。本当の災害が起きたら、どんなことが出来なくなるのか、先生の話を真剣に聞く子ども達。発電機、ライト、簡易トイレに簡易テント等。実際に見ることで関心も高まりました。

今年度は、全園の年長児が非常食を試食。水やお湯を入れるだけで出来上がる不思議さに興味津々。「水も出ない時はどうするの？」等、質問もありました。サラサラだったお米がふっくらご飯となり、「美味しいね」「ちょっとしょっぱいね」と味わっていました。

子ども達と共に意識を高めた一日。今回訓練を行い、各園反省点や検討事項等も出てきました。実際の災害時に出来るだけ安全に過ごせるように、施設の環境・備蓄品・訓練内容等を見直すと共に、法人及びおひさま全園での危機管理を更に深め、子ども達の安心安全な生活をしっかり守っていきたいと思います。

おひさま園長会 危機管理部会

## 大規模改修工事を行っています

8月から3園で大規模改修工事を行っています。保育を実施しながら、来年2月の工事完了を目指し、子ども達の安全を第一に考え、進めています。現在の3園の進捗状況をお知らせします。

### 葛西おひさま保育園

園舎内に入る際、玄関はひらけていますが、中に入ると暗いイメージがあり、多くの方に「おひさまのように温かい雰囲気」を感じられるよう改修のテーマを、明るい色の点灯や壁もパステルカラーを選定し工事を進めています。長期にわたる工事のため、子どもたちの保育の場所や送迎の場所など工期ごとに変更となり子どもたちにも保護者の皆様にもご不便をおかけしていますが、今後も安全第一はもとより、すべてのものが温かみのある雰囲気になり長く愛される保育園になるように進めていきたいと思っております。



### 新堀おひさま保育園

築20年ということもあり様々な個所が劣化し使用しづらい個所も多くあり、職員とどの個所をどの様に改修すれば子どもたちが過ごしやすくなるかを考え、工事を進めています。「誰もが使いやすく柔らかい雰囲気の保育園」を意識してクロスの色や床の素材や色などを選定しています。初めに工事を終えた遊戯室を利用しながら、各クラス入れ替えながらの保育を行っています。完了するまでの間、ご不便をおかけしますが、子どもの安全を第一に考え「誰もが使いやすく柔らかい雰囲気の保育園」を目指して改修工事を進めたいと思っております。



### 鹿骨おひさま保育園

今回の改修で、「子どもたちの笑顔のために、より快適に！」をコンセプトに保育室、外壁、テラス、園庭など変えられるところは変える気持ちで改修を進めています。各保育室の工事中、子どもたちは、遊戯室で過ごし、水道などの水回りが無いため不便なこともありましたが、現在、新しい保育室になり、子どもや保護者の皆様にも喜んでいただいております。残りの工事もみんなで協力しあいながら、子どもたちが安心して落ち着いて過ごせる場になるよう尽力していきます。



## おひさま TOPICS



新川沿いには希望の家、障がい者支援ハウスがあり、毎年開催されている「新川風のアート作品展」に今年初めて、一緒に参加させていただきました。

4、3歳児の子どもたちは、白い布を、割り箸やペットボトルの蓋を利用して輪ゴムで留め、どんな模様になるのかを想像し、楽しみにしながら、染料を使い、顔をしかめ「くさい」と鼻をつまみながら作成。1時

間後染めあがった布を洗おうとすると、赤いはずの布が黄色になり驚きと「失敗?」。割り箸と輪ゴムを取りゴシゴシ洗うと黄色い布がピンクに変わり何回も驚きと、感嘆の声がありました。

子ども達が、「染め」「洗い」「干した」手拭いを希望の家に届けに行き、コロナ禍のため、先方の施設の前で代表の利用者2名にお渡ししました、上を見上げると沢山の職員、利用者の方が手を振ってくれていて、またびっくりしました。

3つの施設が合同で作った手拭いが、新川の上に飾られると水面に色とりどりに映りとてもきれいでした。希望の家の方と一緒に見ていると近所の方も散歩をしながら足を止め見て喜んでくださいました。

今回の「新川風のアート作品展」を通して、沢山の地域交流が出来たと思います。

葛西第二おひさま保育園 主任 厚楽 織絵



ある日4歳児の保育室からダンスの曲が…「あれ? 運動会は終わったのに?」と思っていると今度は楽しそうな笑い声。覗いてみると運動会で踊った海賊に扮した子ども達が力を合わせて海賊船を作っていました。「ここから水が入っちゃうね」と言いながらテ

ブを貼ったり、猛獣や骸骨ゾーンでは輪ゴム鉄砲で戦闘中。最後は作った海賊船に乗って釣りが始まり、宝探しも加わり大盛り上がり!子ども達の想像力は無限です。日々の保育の中でも子どものイメージを聞き、それを膨らませ材料を提供し、一緒に形にしていけるようにしています。お手伝い好きな子ども達は、洗濯ごっこも大好きな遊びの一つ。最近2歳では、病院ごっこが大流行。手作りの聴診器を付け「どこがいたいですか?」「お腹がいたいんです。」とやり取りをしています。

想像力や社会性等沢山の事が身に付くごっこ遊びを通して子ども達の夢や希望が膨らみ、未来が広がる事を期待しながら私も成りきって一緒に楽しんでいます。

西葛西おひさま保育園 主任 山本 英子



## 法人給食だより

### 絵本で楽しく知る ～おせち料理のお話～

もうすぐお正月を迎えます。お正月の食事といえば、おせち料理。数の子、昆布巻き、きんとんなどが入ったおせち料理はお正月に食べるお祝いの料理で、「福を重ねる」「めでたさが重なる」という意味で重箱に詰められます。

今回はそのおせち料理のことが自然に楽しくわかる絵本「おせちのおしょうがつ」をご紹介します。この絵本は、重箱に並んだ料理それぞれの名前や意味が、リズム感のあるおもしろい文章で描かれています。他にもお正月ならではの鏡餅やお雑煮、“おとそ”も登場。お正月の雰囲気を楽しみながら子ども達と読めば「この料理にはこんな意味があったのか！」とおいしさも増しそうです。

また、おせち料理はその地域の特産品などもあるため地域によって様々です。関東地方では、濃口醤油と砂糖など全体的に甘めなものが好まれているようですが、ご家庭のおせち料理のお味はいかがでしょうか。日本の伝統文化でもあるおせち料理、お正月に家族で召し上がってみませんか。

給食でも毎月、様々な地域の郷土料理を取り入れています。その中の一つ、新潟県の「のっぺい汁」はお正月に欠かせない料理とされています。縁起の良いとされている根菜などが多く、一年の始まりに食べると身体も心もポカポカ温まりそうですね。



出版社：世界文化社  
作：ねぎしれいこ  
絵：吉田朋子



### おせち料理簡単レシピ 簡単フルーツきんとん

【材料】4人分

さつまいも	200g
フルーツミックス缶詰	50g
レーズン	適量
スキムミルク	大さじ1
砂糖	大さじ1
バター	小さじ1
塩	少々

【作り方】

- ① さつまいもは皮をむき柔らかく茹で水気を切り、熱いうちに潰しスキムミルク・砂糖・バターを加えて混ぜます。
- ② フルーツミックス缶とレーズンは粗く刻みます。
- ③ ①と②を軽く混ぜ合わせて出来上がりです。



## リレー随筆



私事ですが、この年齢で一昨年、孫が誕生し、何かと感慨深いものがあります。コロナ禍のため、生まれて1か月後、やっと遠方にある孫に会いに行きましたが、その後、拡大が収まらず、テレビ電話で成長を見守っていました。つい先日、初めて親子3人で我が家を訪れてくれました。孫と2人で過ごすことも多く、緊張感は今まで保育士をしても味わうことが出来なかったものでした。今更ながら若い両親の逞しさには、関

心させられますし、仕事を持ちながら子育てに頑張っている方々に「若いて何て素晴らしいんだろう！」と拍手喝采を送りたい気持ちでいっぱいになりました。私自身もその道を歩んで子育てをしながら働いてきましたが、自転車を走らせ、仕事を続ける皆様のお役に立てればと思い、子ども第一に向き合っ、子育てに励んでいただきたいと思います。

先日、錦織圭さんが子ども達にテニスの指導をしている中、質問を受け、「今いちばん感謝している人は誰ですか」と聞かれると、「産んでくれたお母さんです。みんなも大きくなったら、その意味が分かると思います。」と答えていました。

ただ1つ私が苦言を呈したいことは、子ども達と共に過ごすときにスマホに夢中になるのは考えものです。数か月前に駅のホームで母親がスマホに気を取られて、お子さんが走り出し、私が静止したことがありました。本当に授けられた命、楽しく子育てをしていただきたいと思います。ご両親には心よりエールを送りたい気持ちでいっぱいです。

北小岩川おひさま保育園園長 森 佐知子

## 保護者のみなさまの声

我が家の子供たちが保育園に通い始めて早7年を迎えました。「西小岩おひさま保育園」はJR小岩駅から徒歩3分の立地に際した広い園庭が特色の保育園です。また登園時は「いってらっしゃい」、お迎え時には「おかえりなさい」と先生たちの積極的なお声かけで仕事の疲れさえも吹き飛ばしてしまうお気遣いのあるステキな保育園でもあります。昨今からのコロナ禍により活動制限のある中、子供たちの成長を保護者とともに見守り寄り添っていただけること、時に子育てに詰まりご相談に乗っていただけること、感謝の気持ちでいっぱいです。卒園した娘も「保育園時代は楽しかった！」と思い出話に花が咲くほどです。今後もよろしく願いいたします。西小岩おひさま保育園より

2歳の三女はコロナを認識していません。マスクをした先生と過ごすのが当たり前。赤ちゃんの頃からマスクの大人に囲まれて、成長に支障でると言われた事もありました。とんでもない！目と目で繋がり、マスクから溢れ零れる笑顔で、娘は先生が大好きです。口元が見えない今だからこそ、コミュニケーションの大切さを感じます。「目は心の鏡」この意味を学べた事は、保育園の先生方のお陰で、慣れないマスク生活で得た宝と思います。

清新おひさま保育園より

## 編集後記

コロナ禍で迎える2度目の年末となりました。保育園に関わるみなさまに応援していただいたからこその日々だと思っております。今年も1年間、ご理解とご協力ありがとうございました。寒い冬ですが、保育園はあたたかい場所にしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。